

中国政治・メディア研究の最先端

中国政治・メディア実証研究会ニュースレター2026年9月号

概要

本号では、2026年9月に公開された英語論文のうち、中国政治・メディアの実証研究にとくに有用な15本を紹介する。中国と米国の大学生を追跡した研究は、留学前後の政治態度が選抜と本国のショックによってどう分かれるかを検討する。あわせて、香港の歴史教科書、新型コロナウイルスの記憶、抗議の標的化、『人民日報』の育児言説に関する研究は、国家が物語、教育、政策の枠組みをどのように形成するかを検討している。このほか、記者へのオンライン暴力、ファクトチェッカー、抖音におけるニュースの可視性、香港のコミュニティ紙、党大会報道、今日头条のアルゴリズム化されたナショナリズム、MeToo後の態度変化、若年層のニュース利用、小紅書への越境移動、国際伝播センター、アフリカ表象を通じた公共外交を取り上げる。

一 政治態度

1. Selection, Stability, and Shock: Political Attitudes of Chinese Students at Home and Abroad

Yingjie Fan, Jennifer Pan, Yiqing Xu | *British Journal of Political Science* | 2026-09-22 | 10.1017/s0007123426101756

中国と米国の大学生987人を2019年から2023年まで追跡し、留学がイデオロギー、政治態度、国民アイデンティティをどう変えるかを検討する。米国の大学へ進む学生は、出発時点ですでに国内に残る学生より自由主義的で市場志向が強く、ナショナリズムは弱い。大学在学中のイデオロギーは、留学の有無にかかわらず安定している。一方、2022年から2023年にかけて、中国の政治体制への支持と国民アイデンティティへの感情的同一化は両群で低下し、米国留学群で低下が大きい。留学の効果を受け入れ国での暴露だけに帰さず、選抜、本国のショック、受け入れ国の文脈を区別する。

二 国家・記憶・教育

2. “Hong Kong Has Always Been a Part of China”: Analysis of the Hong Kong History Discourse in Hong Kong Chinese History Subject

Pong Ho Yin, Kang Jong Hyuk | *Nationalities Papers* | 2026-09-09 | 10.1017/nps.2026.10202

香港の中国史教育が、若者に中国による統治への同一化をどのように促すかを、主要出版社の教科書の言説分析から検討する。香港史は中国本土中心の歴史観に組み込まれ、教育上適切で権威ある中国ナショナリズムの物語として提示される。歴史教育が国民教育の装置へと転化する政治的・イデオロギー的な方向性を示す。

3. Authoritarian Memory Politics: State Erasure, Manipulation, and Counter-Hegemonic Resistance

Yida Zhai | *Journal of Contemporary China* | 2026-09-29 | [10.1080/10670564.2026.2737134](#)

権威主義体制における記憶の政治を、国家による記憶の消去と支配的記憶の構築、それらに対する対抗ヘゲモニー的抵抗という観点から理論化する。中国の新型コロナウイルスに関する記憶を事例に、インタビュー、政府文書、ソーシャルメディア投稿を用いる。制度的制約の乏しい環境において、忘却と想起が文化的ヘゲモニーをどのように支えるかを示す。

4. When the emperor gets the blame: unpacking protest targeting in Xi Jinping's China

Wei-Feng Tzeng, Hsin-Hsien Wang | *Japanese Journal of Political Science* | 2026-09-24 | [10.1017/s1468109926100413](#)

習近平期の抗議がどのレベルの政府を標的とするかを、2012年から2022年までのデータから検討する。イデオロギー的要求を掲げる抗議、都市部の抗議、大規模な群衆を伴う抗議、とくに北京での抗議は、中央政府を標的としやすい。ゼロコロナ政策に対する白紙運動が党支配への脅威を意味するのかを、地方政府を標的とする抗議との対比から捉え直す。

5. Soft propaganda and the marginalized childcare policy in China

Hongyu Xu, Yixiong Huang | *The History of the Family* | 2026-09-18 | [10.1080/1081602x.2026.2733647](#)

1949年から2020年までに『人民日報』に掲載された510本の記事を内容分析し、育児政策が人口政策の各時期にどのように枠づけられ、伝達されたかを検討する。国家は育児の責任を家族と市場に委ね、女性の労働動員、市場改革、出生促進といった優先課題の下で育児政策を周縁化してきた。政策の遵守を確保するため、党国家はソフトプロパガンダを継続的に用いている。

三 ジャーナリズムと報道の可視性

6. Pressured by the Comments? Chinese Journalists in the Face of Online Violence

Siyu Chen | *Journalism Studies* | 2026-09-04 | [10.1080/1461670x.2026.2728658](#)

中国の記者が直面するオンライン暴力を、異なる媒体で働く記者への20件の半構造化インタビューから分類する。非専門的行為への攻撃、道徳的強制、いわゆるナショナリズムに動機づけられた暴力、ジェンダー暴力の四つが中心であり、文化規範、ナショナリスト・イデオロギー、家父長制がこれらを支えている。対処は沈黙や回避など、個人的で負担の大きい方策に偏り、組織的支援は乏しい。

7. Negotiating Professional Roles in a Constrained Media System: Role Perception and Narrated Enactment among Fact-Checkers in China

Hanye Yang | *Journalism Studies* | 2026-09-29 | [10.1080/1461670x.2026.2734301](https://doi.org/10.1080/1461670x.2026.2734301)

制約されたメディア環境において、中国のファクトチェッカーが職業的役割をどのように認識し、語るかを、4 類型の組織を対象とした 14 件のインタビューから検討する。教育者、噂の打破者、キュレーター、独立した主張者、門番、促進者という六つの役割が確認される。これらの役割は、理想と実践の断絶としてではなく、制度的制約と国家的コミュニケーションの優先事項との間で、状況に応じて交渉される。

8. Dynamic News Visibility Across Media Sources: Evidence from a Chinese Algorithmic Platform

Wen Shi, Jinhui Li | *Digital Journalism* | 2026-09-11 | [10.1080/21670811.2026.2729388](https://doi.org/10.1080/21670811.2026.2729388)

抖音の推薦システムが、政府系メディアと非政府系メディアのニュースの可視性をどのように配分するかを、エージェントを用いた検証によって分析する。利用者の行動データが乏しい初期段階では政府系メディアの可視性が高いが、反応が蓄積すると非政府系メディアの可視性が増す。推薦システムは、利用者の選好の違いに対して対称的に応答するわけではない。アルゴリズムによる可視性を、商業的要因、制度的要因、利用者行動の相互作用として捉える。

9. Affective journalism and identity: Community newspapers as emotional agents in Hong Kong

Xiaoying Han, Zhijin Zhong | *Journalism* | 2026-09-24 | [10.1177/14648849261492011](https://doi.org/10.1177/14648849261492011)

香港のコミュニティ紙が、感情と言説を通じて共同体に関する知識をどのように形成するかを、親民主派と親体制派の二紙の批判的言説分析によって比較する。一方は共同体を自己決定する集合的主体として構成し、他方は徳のある個人と、それに整合する制度がもたらす調和として構成する。草の根報道を、急速に変化する政治とアイデンティティのなかで機能する感情的装置として捉えている。

10. Same event, different stories: a corpus-assisted critical discourse analysis of the 20th CPC National Congress in Chinese and US mainstream media

Jiayang Han, Liping Wang | *Humanities and Social Sciences Communications* | 2026-09-10 | [10.1057/s41599-026-09054-2](https://doi.org/10.1057/s41599-026-09054-2)

第 20 回党大会をめぐる言説構築を、中国と米国の主流メディア 6 媒体のコーパス支援批判的言説分析によって比較する。中国メディアは公式言説を再生産し、党大会を今後の進路を定める転換点として描く。米国メディアは党大会を権力移行と権力集中の場として捉え、専門家や異論を唱える側の解釈を増幅する。主流メディアが政治的物語を再構成する装置であることを示す。

四 プラットフォームと公衆

11. Chinese Intellectual Influencers and the Construction of Algorithmized Nationalism: The Case of Jinri Toutiao

Haiyan Wang, Zhengqing Yan, Lin Wu, Carwyn Morris | *Journal of Contemporary China* | 2026-09-08
| 10.1080/10670564.2026.2725761

今日頭条のアクセスの多い知識人アカウント 14 件と、再生回数の多い動画を分析し、知識人インフルエンサーがアルゴリズム化されたナショナリズムをどのように構築するかを検討する。ペルソナ管理、感情の動員、事実の修飾を通じて、攻撃的で政治的に保守的なナショナリズムが推薦アルゴリズムの論理に沿って形成される。プラットフォーム、国家、知識人の実践が交差する、新たな言説生産のあり方を示す。

12. When Movement Widens the Gap: The Contingent Effect of the Chinese #MeToo Movement on Feminist Attitudes

Shuning Lu, Haixin Mu, Tian Yang | *The International Journal of Press/Politics* | 2026-09-21 | 10.1177/19401612261484800

中国の MeToo 運動後にフェミニスト態度がどのように変化したかを、2010 年から 2023 年までの中国総合社会調査から検討する。運動はフェミニズムに肯定的な態度の上昇と関連するが、その変化は性別とデジタル・デバイドに沿って不均等であり、集団間の態度差は広がる。デジタルに媒介された運動の文化的帰結を、アイデンティティと情報経路という条件から明らかにする。

13. Social media news use and political expression among young adults: evidence from China

Lihui Cai, Zhen Lin, Shengli Dai, Zhenhua Zhang, Bin Yang | *Humanities and Social Sciences Communications* | 2026-09-11 | 10.1057/s41599-026-08859-5

2018 年のインターネット利用者社会態度調査を用い、中国の若年層によるソーシャルメディアでのニュース利用が、政治的表現とどのように関わるかを検討する。政治的効力感を統制しても、ニュース利用はオンラインとオフラインの政治的表現を直接高めるほか、ソーシャルメディアへの信頼を介しても作用する。政治的関心は、オンラインでの政治的表現に対する媒介効果をさらに強める。

五 対外ナラティブ

14. China's International Communication Centers as Vehicles of Soft Power on Social Media

Emma Martin | *Global Media and China* | 2026-09-29 | 10.1177/20594364261490081

中国の国際伝播センターが、X（旧 Twitter）で対外的なソフトパワーをどのように運用するかを、省レベルの 3 センターによる 1 カ月分の投稿の内容分析から比較する。地方・地域の部門が担うこれらの機関は、地域の認知度向上と国家イメージの集合的形成を目的とする。国家はソフトパワーの運用を続けながら、国外の受け手に届くデジタル手法を更新している。

15. Exploiting New Public Diplomacy to Sell Racism: Chinese Representation of Africans in China's Social Media Space

Thomas Ameyaw-Brobbe | *Politics & Policy* | 2026-09-04 | [10.1111/polp.70175](https://doi.org/10.1111/polp.70175)

中国のサイバー空間におけるアフリカ関連コンテンツを、抖音と優酷に投稿された 716 本の動画のサイバーエスノグラフィーと体系的な内容分析から検討する。アフリカにいる中国の非国家主体が、新たな公共外交を利用して歪んだアフリカ表象を大量に流通させ、政府や国家機関による間接的・受動的な黙認を伴う場合もあることを示す。こうした過程は、ステレオタイプと差別的イメージを強化する。公共外交がレイシズム的表象の流通に転用される経路を明らかにする。